



令和4年 1月 7日 発行

# 学校だより 1月 374号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

## 「新しい年をおかえて あきらめない気持ち」

校長

感染拡大防止策に取り組みながらの令和3年の学校運営は、令和2年度に引き続き様々な対応を求められ「新しい生活様式」に沿った内容に変更せざるをえないものとなりました。

感染が拡大した8月後半の臨時休業に続き、9月の分散登校では、1つの学級を2つのグループに分けての隔日登校とするなど、新型コロナウイルス感染症の流行という緊急事態は、私たち大人ばかりでなく、学びや遊び、さまざまな体験活動を制限された子どもたちの生活にも大きな変化をもたらしています。

給食時の会話の禁止、運動会や修学旅行などの学校行事の中止や延期、部活動（特別音楽クラブ）の活動制限、学校外で友人と遊ぶ機会の減少…など、こうした体験活動が奪われていくことに「思い出が作れなくなって、悲しい」と素直に悔しい気持ちを表す子どもがいる一方で、「コロナだから仕方がない」と、あきらめることを受け入れている子どもの姿を見ることもあり、心配になることがありました。

しかし、12月21日に開催された運動会の代替イベント「六つ西 エンジョイ スマイル フェスティバル」で見せてくれた子どもたちのがんばりには、勇気と希望の光を感じました。

「運動会よりも思い出に残り心の底から楽しめるように、という思いが6年生全体に広がり、

全校一丸となってこの日を迎えることができたことが、一番うれしかったです。」と、6年生のイベント実行委員長は、閉会式の中で感想を語ってくれました。イベント実施後に保護者の皆様からいただいたアンケートでは、「子どもたちのかがやき、ひびきあう姿は見られましたか?」と「このフェスティバルは、子どもたちの主体的な活動になっていたと思いますか?」の2つの項目に対して約93%の方が「とてもそう思う・そう思う」と御回答くださいました。自由記述には、子どもたちの頑張りを称えるメッセージがほとんどでしたが、中には「イベントは大事なと感じます。運動会が中止となり、六つ西なら必ず代わりにイベントをやってくれると期待していました。」と、教職員にとっても励みとなる感想もいただきました。

子どもたちの学校での活動と学校での取組が、日々皆様に支えられていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいになります。

そして、何よりも「あきらめない気持ち」の大切さを子どもたちから教えてもらったことが、令和4年のスタートにつながりました。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



\*アンケートにいただいた結果とそこのご意見は実行委員の子どもたちと共有し、今後の教育活動に生かしていきます。

### ★人権週間(12/4~10)の取り組み★

12月5日から各クラスで取り組んだ成果が今、六つ西美術館に掲示されています。それぞれのクラスでユニセフの資料ビデオをみて、世界の子どもの現状について話し合いました。遠い世界の子どもの様子を初めて知った子どもたちもいたと思います。これからも、様々なところからの情報を見聞きし、興味・関心をもっていけることを願っています。